

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 情報 科目 情報Ⅰ

教 科： 情報 科 目： 情報Ⅰ 単位数： 2 単位
対象学年組： 第 1 学年 A 組～ G 組
教科担当者： （ A・B・C・D・E・F・G組：岡崎 ）
使用教科書： （ 日本文教出版 情報Ⅰ ）

教科 情報 の目標：
【知 識 及 び 技 能】情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法の理解を深め技能を習得し、情報社会と人との関わりを理解する。
【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報との結びつきと捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関りについて理解を深める	様々な事象を情報との結びつきと捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	情報社会に生きるわたしたち	教科者P6～13	行動観察	○	○	○	1
	情報の特性	教科者P16～17	定期考査	○	○	○	1
	メディアの特性 ・メディアの特性について学ぶ ・目的に応じたメディアを選択する ・メディアの特性が果たす意義を理解し活用することができる	教科者P18～19 「メディアの特性を考えてみよう」 「メディアの特性」	定期考査 ワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	1
	問題解決の考え方 ・問題解決の流れ、考え方を学ぶ ・目的や状況に応じて問題を発見・解決する方法を考える ・問題発見・解決に主体的に取り組むことができる	教科書P20～23 「問題解決の考え方を身につけよう」 「問題解決の考え方」	定期考査 ワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	2
	法の重要性と意義 ・著作権、個人情報について学ぶ ・情報に関する法規や制度や個人の果たす役割を考える ・情報モラルに配慮し情報社会に主体的に参画しようとする姿勢を育む	教科書P24～31 「著作権侵害について考えよう」 「著作権」 「個人情報について考えよう」 「個人情報」	定期考査 ワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	4
	定期考査						
	情報社会と情報セキュリティ ・サイバー犯罪・コンピュータウイルスについて学ぶ ・情報セキュリティを確保するための個人の取組みについて考える ・情報機器や情報通信ネットワークを安全に利用する姿勢を育む	教科書P32～37 「サイバー犯罪について考えよう」 「情報社会と情報セキュリティ」	定期考査 ワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	4
	情報技術の発展による生活の変化 ・ソーシャルメディアについて学ぶ ・ソーシャルメディアでの情報発信での留意点や配慮を考える ・情報発信における望ましい姿勢を育む	教科書P38～41 「ソーシャルメディアの適切な活用法を身につけよう」 「情報技術の発展による生活の変化」	定期考査 ワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	1
	情報技術の発展による社会の変化 ・AIやロボットなどに学ぶ ・技術が生活に及ぼす影響について考える ・豊かな生活へ向けて技術を活用する姿勢を育む	教科書P42～47 「情報技術の発展と社会の変化を考えよう」 「情報技術の発展による社会の変化」	定期考査 ワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	1
	メディアとコミュニケーション ・メディアとコミュニケーションについて学ぶ ・適切なメディアの活用および情報発信について考える ・コミュニケーションにおいて適切にメディアを活用する姿勢を育む	教科書P66～75 「コミュニケーションとメディアの活用」 「コミュニケーション手段の特性」 「インターネットの発展」 「情報機器のパーソナル化とソーシャルメディア」	定期考査 ワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1

2 学 期	情報のデジタル化	教科書P 7 6～9 1	定期考査	○	○	○	8
	情報デザイン ・情報デザインについて学ぶ ・情報デザインを用いた情報表現を考える ・情報デザインによる問題解決を考える姿勢を育む	教科書P 9 2～1 0 1 「情報デザインとは」 「情報デザインのプロセスと問題の発見」 「デザインの要件と設計・試作」 「評価と改善・運用」	定期考査 ワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	コンピュータのしくみ ・コンピュータの仕組みについて学ぶ ・基礎的な知識や技術を理解し考える ・基礎的な知識や技術の理解を深める	教科書P 1 1 6～1 2 9 「コンピュータの基本的な構成」 「ソフトウェアとOS」 「CPUとメモリ」 「CPUによる演算のしくみ」 「2進法による計算」	定期考査 ワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	6
	アルゴリズムとプログラム ・アルゴリズムとプログラムについて学ぶ ・アルゴリズムとプログラムの関係を理解し、アルゴリズムを考えプログラムを作成できる ・身の回りの問題解決に活用する姿勢を育む	教科書P 1 3 0～1 4 7 「アルゴリズム」 「プログラムの構成要素①」 「プログラムの構成要素②」 「データの扱い」 「アプリケーションの開発①」 「アプリケーションの開発②」 「アプリケーションの開発③」	定期考査 ワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
3 学 期	モデル化とシミュレーション	教科書P 1 4 8～1 6 5	定期考査	○	○	○	4
	情報通信ネットワークのしくみ ・情報通信ネットワークの仕組みについて学ぶ ・通信ネットワーク状況に応じた適切な構成要素を考える ・情報通信ネットワークを適切に活用する姿勢を育む	教科書P 1 6 6～1 8 3 「コンピュータとネットワーク」 「ネットワークの接続」 「プロトコルとIP」 「プロトコル データ転送のしくみ」 「暗号化のしくみ」	定期考査 ワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	7
	情報システムとデータベース ・情報システムとデータベースについて学ぶ ・情報システムを構成する技術が社会で利用されていることを理解する ・情報システムを積極的に活用しようとする姿勢を育む	教科書P 1 8 4～1 9 1 「情報システム」 「情報システムにおけるデータベース」 「データベース管理システムとデータモデル」	定期考査 ワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	3
	データの活用 ・データ分析について学ぶ ・データ分析しやすいデータの収集、整理および分析ができる ・データ分析を身の回り活用する姿勢を育む	教科書P 1 9 2～2 0 7 「データの収集と整理」 「数値データの分析」 「テキストデータの分析」	定期考査 ワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
							合計
							69

年間授業計画 新様式例
高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 情報 科目 情報演習

教 科： 情報 科 目： 情報演習 単位数： 2 単位
対象学年組： 第 3 学年 組～ 組
教科担当者： （選択者：岡崎 ）（ ）
使用教科書： （学校設定科目なので、使用する教科書はありません）
教科 情報 の目標：

【知 識 及 び 技 能】情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法の理解を深め技能を習得し、情報社会と人との関わりを理解する。
【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報との結びつきと捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関りについて理解を深める		様々な事象を情報との結びつきと捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	コンピュータのしくみ ・コンピュータの仕組みについて学ぶ ・基礎的な知識や技術を理解し考える ・基礎的な知識や技術の理解を深める	「コンピュータの基本的な構成」 「ソフトウェアとOS」 「CPUとメモリ」 「CPUによる演算のしくみ」 「2進法による計算」	定期考査 グループワークへの取り組み ワークシート 行動観察	○	○	○	6
	アルゴリズムとプログラム ・アルゴリズムとプログラムについて学ぶ ・アルゴリズムとプログラムの関係を理解し、アルゴリズムを考えプログラムを作成できる ・身の回りの問題解決に活用する姿勢を育む	「アルゴリズム」 「プログラムの構成要素①」 「プログラムの構成要素②」 「データの扱い」 「アプリケーションの開発①」 「アプリケーションの開発②」 「アプリケーションの開発③」	定期考査 グループワークへの取り組み ワークシート 行動観察	○	○	○	6
	情報通信ネットワークのしくみ ・情報通信ネットワークの仕組みについて学ぶ ・通信ネットワーク状況に応じた適切な構成要素を考える ・情報通信ネットワークを適切に活用する姿勢を育む	「コンピュータとネットワーク」 「ネットワークの接続」 「プロトコルとIP」 「プロトコル データ転送のしくみ」 「暗号化のしくみ」 「暗号化と認証技術」	定期考査 グループワークへの取り組み ワークシート 行動観察	○	○	○	4
	情報システムとデータベース ・情報システムとデータベースについて学ぶ ・情報システムを構成する技術が社会で利用されていることを理解する ・情報システムを積極的に活用しようとする姿勢を育む データの活用	「情報システム」 「情報システムにおけるデータベース」 「データベース管理システムとデータモデル」 「データの収集と整理」 「数値データの分析」 「テキストデータの分析」	定期考査 グループワークへの取り組み ワークシート 行動観察	○	○	○	6
2 学 期	定期考査						
	情報Ⅰで学んだプログラムの構造化と構造化するためのアーキテクチャの明確化	プログラム構造化の明確化 Webアプリケーションの作成	定期考査 グループワークへの取り組み ワークシート 行動観察	○	○	○	4
	情報Ⅰで学んだ情報通信ネットワークのしくみの構造化と構造化するためのアーキテクチャの明確化	情報通信システムのしくみと情報セキュリティ	定期考査 グループワークへの取り組み ワークシート 行動観察	○	○	○	6
	情報Ⅰで学んだ情報システムとデータベースの構造化と構造化するためのアーキテクチャの明確化	情報システムの開発と運用要件定義とシステムの可視化	定期考査 グループワークへの取り組み ワークシート 行動観察	○	○	○	6
	情報Ⅰで学んだデータの活用の構造化と構造化するためのアーキテクチャの明確化	データ解析と構造化の明確化 構造化と誤差等のデータ解析にかかわる数値処理について	定期考査 グループワークへの取り組み ワークシート 行動観察	○	○	○	6
	定期考査						
	クラウド情報システムはDXに向けて						

3 学 期	インターネット情報への活用はDXとしての社会問題を解決するための道具である。ペインポイントを理解し、DXを理解するために必要なことを学ぶ	情報と情報技術を活用した問題解決	定期考査 グループワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	4
	身近で具体的な問題の一つ上げ、問題解決に何ができるのか思考する	情報と情報技術を活用した問題解決の探究	定期考査 グループワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	4
							合計
							52